

荒川の人

第265回

西尾久で愛される実家のとんかつ屋を守りたい!
誰にもまねできない発想でピンチをチャンスに。

俳優 安藤玉恵さん

1976年荒川区西尾久生まれ。早稲田大学第二文学部卒業。2013年第27回高崎映画祭最優秀助演女優賞を映画「夢売るふたり」で受賞。確かな演技力で様々な役を演じ、注目を集める。最近の主な出演作は映画「バイプレイヤーズ〜もしも100人の名脇役が映画を作ったら〜」、ドラマ「今ここに
ある危機とぼくの好感度について」(NHK)、「君と世界が終わる日に」(日本テレビ+Hulu)など。



都 電荒川線宮ノ前停留場のほど近く、昭和25年創業のとんかつの名店「どん平」は安藤玉恵さんの実家にあたります。昨年来のコロナ禍が安藤さんの演劇観に大きな変化を及ぼしたように、飲食店を営む実家にも暗い影を落としました。「どん平」を救うために企画したユニークなイベントを立ち上げるまでの経緯や荒川区とのつながりについてお話を伺いました。

一人芝居と名物のとんかつで「Save The どん平」

西尾久にある「どん平」で一人芝居と名物のとんかつを味わう企画「とんかつと語りの夕べ」を立ち上げた安藤さん。昨年6月に訪れた実家でのお兄さんとの会話がすべてのはじまりでした。コロナ禍で夜の宴会の客足が遠のいてしまった「どん平」。にぎわいを取り戻すためにできることはないか。「Save The どん平」をキーワードに構想を練っていきました。「はじめは読み聞かせのついでにとんかつも販売できれば、くらいの気持ちでした。そのうちに劇団員の頃2階のお座敷で稽古していたのを思い出して、ここなら広いし、何かできそうな気がして。食べながら観てもらおう“ディナーショー”もいつかはやりたいですね」と屈託なく笑う安藤さん。お兄さんの了承を得て、本格的に始動するも、すべてが手探り状態。昨年春の緊急事態宣言の解除後、劇場での徹底した感染予防対策を目の当たりにすると、生半可な気持ちではできないと痛感。覚悟にも似た気持ちで準備を進めていったそうです。

そして、感染症対策の専門家の監修の下、ついに「とんかつと語りの夕べ」が幕を開けます。一人芝居のテーマは阿部定。様々な役を演じてきた安藤さんにとっても阿部定を演じるのは初めてのこと。「お店の近くの尾久

三業地で事件があり、祖母からは阿部定さんを見たことがあったと聞かされていたので、彼女を演じることに不思議な縁を感じました。少人数制なので反応が直に伝わってくるのと、実家という高揚感も相まって、楽しくやらせてもらっています」

「とんかつと語りの夕べ」は、これまでに11回開催。区内の知人や、阿部定を知らない若者など幅広い世代のお客さんが一人芝居に酔いしれ、終演後とんかつに舌鼓を打ちます。(店内とテイクアウトが選択可)現在は休止中ですが、夏頃の再開をめざしています。

役者の勉強にもなった読み聞かせボランティア

仕事柄、本を読まない日がないと言っていいほど常に台本や戯曲などと向き合っている安藤さん。ゆいの森あらかわはお気に入りの図書館ということもあり、よく利用しているそうです。2月に移転オープンした尾久図書館には、まだ訪れていないとのことですが、大きく変貌を遂げた尾久図書館に興味津々の様子でした。

本との関わりはそれ以外にも。お子さんが読書活動に熱心な第一日暮里小に通っていたこともあり、6年間にわたって読み聞かせのボランティアを務めていたことも明かしてくれました。「年に10回は読み聞かせに行ったかな。児童たちをお客さんだと思って、本気で取り組んでいたのが役者としてもかなり鍛えられましたね」



第一日暮里小では本の読み聞かせのほか、紙芝居、落語、狂言なども紹介。



安藤玉恵さんのお気に入りの一冊

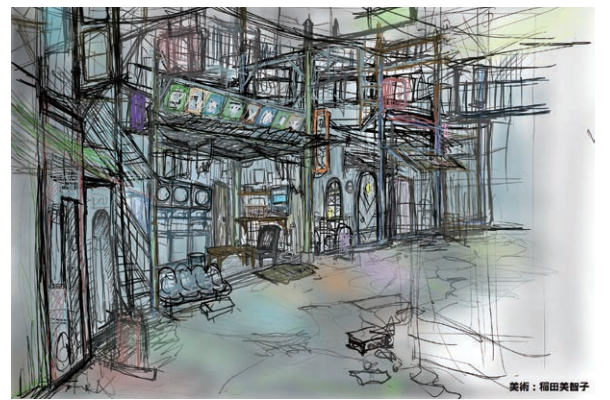
『いないいないばあ』(童心社) 著者: 松谷みよ子 絵: 瀬川康男
変な顔をしながらお子さんたちに読み聞かせてあげたい絵本です。実はびっくりさせすぎて泣かせちゃったこともあるんです(笑)

生まれ育った街でいつの日か演劇フェスティバルを

「尾久図書館も新しくなったし、おばあちゃんになったら図書館の隣に住むのもいいかも」と語る安藤さんが図書館と同じくらい愛してやまない場所が銭湯です。日暮里の「斉藤湯」で最後の「三助さん」に背中を流してもらったことや、熱すぎて入れない湯船に水を入れて怒られた幼い頃の経験は懐かしい思い出として記憶に刻まれています。現在は旧小台通りの「梅の湯」によく足を運んでいるとのこと。

サンパール荒川、日暮里サニーホールなど文化活動の拠点となる施設で働いていたこともあり、荒川区の文化、芸術の発展に熱い想いを抱き続けてきた安藤さんには叶えたい夢があります。それは、あらかわ遊園で演劇フェスティバルを実現すること。「子どもたちが楽しめるようにアレンジした『夏の夜の夢』を夜の屋外ステージでやりたいですね。隅田川を借景に、照明で幻想的な雰囲気をつくり出せたら、素敵な舞台になると確信しています!」

舞台、読み聞かせ、そして一人芝居。どんな場面でも誰かを喜ばせたい、楽しんでほしいという表現者としての本能を原動力に安藤さんの果敢な挑戦は続きます。



KAAT 神奈川芸術劇場プロデュース「虹む街」

演劇界の鬼才、タニノクロウがKAATに初めて書き下ろす最新作。
作・演出: タニノクロウ
出演: 安藤玉恵 金子清文 緒方晋 島田桃依 タニノクロウ 蘭妖子 ほか
KAAT 神奈川芸術劇場(中スタジオ)にて6月6日(日)~6月20日(日)上演



Takeout & Delivery

テイクアウト&デリバリー

～ホテルの味をご自宅で～
ホテルメイドのお料理でステイホームをもっと楽しく♪
ご不明な点はお気軽にお問い合わせください

販売時間	【テイクアウト】	【デリバリー】	配達エリア
	(ランチ) 11:00 ~ 14:30 (ディナー) 17:00 ~ 19:30	(ランチ) 11:00 ~ 14:30 (ディナー) 17:00 ~ 19:00	

◆デリバリーは、お料理料金合計¥2,000以上から承ります。 ◆配達所要時間は、40分~60分を目安にご注文くださいませ。
◆デリバリーは、配達料¥300を頂戴いたします。 ◆配達は、ホテルスタッフが伺います。

ご利用方法
オンラインにて24時間受け付けいたします。
右記QRコードよりご希望のお料理をお選びいただき、ご注文ください。
<https://www.tablecheck.com/shops/hotellungwood-serio/reserve>

電話でのご予約・お問い合わせ
レストランセリオ SERIO TEL.03-3803-1234 (代表) 【受付時間】 11:00~19:00